

第13回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 配管減肉分科会 議事録(案)

1. 日 時：2016年1月22日(金) 13時30分～15時10分
2. 場 所：日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者：尾山(東電)、川端(関電)、近藤(MHPS)、増田(東京PT)、五代儀(火原協)、
橋井(富士電機)、貞守(中部電力)、渡邊(東北電力)
欠席者：朝倉(東芝)
オブザーバ：東(富士電機)、吉村(富士電機)、二宮(関電)
事務局：原

4. 配布資料

- 13-1 配管減肉分科会前回議事録案
- 13-2 配管減肉分科会委員名簿
- 13-3 第74回火力専門委員会議事録(案)
- 13-4 第76回発電用設備規格委員会議事録(案)
- 13-5 火力設備配管減肉管理技術規格の改訂案の火力専門委員会書面投票 No.69 結果
- 13-6 「発電用火力設備の技術基準の解釈」の一部改正に対する意見募集
- 13-7-1 火力専門委員会書面投票 No.69 における意見対応について
- 13-7-2 火力設備配管減肉管理技術規格改訂案(書面投票 Ver.)
- 13-7-3 配管減肉分科会の今後の活動方針の提案(改1)H22.8.25
- 13-7-4 第53回火力専門委員会議事録
- 13-8 審議履歴表

5. 議題

- (1) 前回議事録確認 [資料 13-1]
前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。

- (2) 分科会委員・役員の承認 [資料 13-2]
委員の退任、新任・再任委員候補はなし。

(3) 報告事項

- (3-1)火力専門委員会報告 (12月4日開催) [資料 13-3]
第74回火力専門委員会の審議内容について、以下のとおり報告された。
- ・分科会委員・役員の承認・・・次期の火力専門委員会委員長候補に東北大学の三原委員が選任されたことの報告。
 - ・第12回配管減肉分科会報告
火力設備配管減肉管理技術規格(JSME S TB1-2009)改訂の審議状況
3方向放射線透過法による試験方法に関する審議状況
 - ・火力設備配管減肉管理技術規格(JSME S TB1-2009)の改訂提案
審議状況と書面投票実施が承認されたことの報告

(3-2)規格委員会報告（12月9日開催）

[資料 13-4]

第76回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する事項について、以下のとおり報告された。

・火力専門委員会の審議状況

- ①火力専門委員会委員長の選任、委員選任について
- ②発電用火力設備規格 2015 年追補案の JESC 審議及びコメント対応報告
- ③「発電用火力設備の技術基準の解釈」の一部改正に関する報告
- ④高クロム鋼の許容引張応力の見直しの材料専門委員会への検討依頼
- ⑤火力設備配管減肉管理技術規格の改訂提案

(3-3) 火力設備配管減肉管理技術規格（JSME TB1-2009）の改訂案の火力専門委員会
書面投票結果報告

[資料 13-5]

標記書面投票が可決となったことが報告された。

(3-4) 「発電用火力設備の技術基準の解釈」の一部改正に対する意見募集 [資料 13-6]

JSME 発電用火力設備基本規定(2012 年版、2015 年追補を含む)が取り入れられている火技解釈の改定案が、経済産業省のパブコメにかけられた(12/2～1/4)ことが紹介された。

(4) 審議事項

(4-1)火力設備配管減肉管理技術規格改訂案の書面投票意見対応 [資料 13-7-1～4]

尾山主査から、意見 No.1 から 8 の意見対応結果(いずれも対応案了解済み)と意見 No. 9 から 13 の意見対応案について説明があり、審議を行うとともに、今後の予定を確認した。

○配布資料 13-7-3「配管減肉分科会の今後の活動方針の提案(@H22.8.25)」に関連し、今後の電事連からの配管減肉データおよび高減肉事例の提供については、規格改訂作業が落ち着いた段階で、分科会において議論することとした。

○意見 No.1 から No.8 までの意見対応結果および意見 No.9 から 13 の対応案が、妥当であることが確認された。

・No.10 の対応案 参考データ → 参考例 とする。

○岡委員は、意見対応案を了解済み。松田委員については、事務局が意見対応案の確認を依頼をする。

○3 月 1 日の火力専門委員会では、今回の意見対応を反映した規格の修正案を提案する。今回の修正は、編集上の修正または軽微な技術的な修正に該当すると考えられるが、必要に応じ、分科会三役が火力専門委員会三役と事前調整する。

○3 月 15 日の発電用設備規格委員会では、今回の修正を反映し火力専門委員会で承認された規格の改訂および書面投票実施の提案を行う。書面投票期間は、同じく 1 ヶ月。提案資料は、火力専門委員会と同様のものを用意する。規格委員会での説明内容も、火力専門委員会と同様の内容とする。

6. 次回開催予定

日 時：2016年4月27日（水）13時30分～17時00分

場 所：日本機械学会 第3・4会議室

以 上